

視点 View Point

いまむらとしあき
今村 俊明氏

株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
代表取締役社長

AC長野パルセイロ・アスレチッククラブの活動理念に「地域と共に歩み、スポーツの力でNAGANOを元気にする」と謳う通り、地域が笑顔に溢れ、老若男女が心豊かに過ごせる社会に貢献してまいります。そのため、サッカーに関しては大きな目標を掲げ、組織がベクトルを合わせて、今この一瞬にできることにベストを尽くします。また、地域の皆さんとスポーツの接点をたくさんつくり、人と人が接しながらコミュニケーションを深められる機会を積極的に提供していきます。

地域に最も身近で、 地域と最も結びついたクラブに

スポーツを通じて社会を明るく

このたびAC長野パルセイロ・アスレチッククラブ代表取締役社長に就任しました。抱負をお聞かせください。

今村 長らくスピードスケート界に関わるなかで、私はスポーツを通じて社会を明るくしたいとずっと考えてきました。人生の終盤を迎えた今、オフアをいただき、これまでの思いを強くしました。スポーツの種類こそ違え、当社は「地域と共に歩み、スポーツの力でNAGANOを元気にする」を活動理念に掲げます。就任にあたり、地域が笑顔に溢れ、老若男女が心豊かに過ごせる社会に貢献したいと強く願っています。

現在当社はサッカーチームが中心ですから、まずはサッカーで皆さんに喜んでいただけるような活動をする。次にこれをベースとし、アスレチッククラブとしてさまざまなスポーツを通じて魅力ある発信ができればと考えています。

そのためにも、これまでAC長野パルセイロを築きあげてこられた、選手、スタッフ、サポーターの皆様、スポンサーの皆様、地域の皆様から幅広くお話を伺い、現状把握に努めます。

10年後、20年後に
J1で優勝を争うチームに

クラブの行動理念の実現に向けて、今後どんな目標を掲げられていますか。

今村 サッカーのトップチームに関しては、10年後、20年後にJ1で優勝を争うチームになることが目標です。先日、シュタルフ監督、村山強化アドバイザーと話した機会に、「J1で優勝するチームにしたい」と

顔で集い触れ合う景色が日常的に見えるまちなになれば素晴らしいですね。たとえば休日の公園の芝生いっぱいこの広場で、あるいは毎朝のラジオ体操の会場で。

今の時代、人と人が接する時間が減っている気がします。コロナ禍もあってその傾向は顕著ですし、特に子どもたちやお年寄りでそのことが気になります。スポーツは、その輪に加わった人が同じ目標に向かって共に苦勞し、共に楽しんで、共に結果を分かち合えます。広い世代を交えて人と人をつなぎ、コミュニケーションを深める機会を提供できます。スポーツが地域の皆様のお役に立つことで、当クラブがまちの宝となり、誇りとなり、そんなクラブのあるまち自体が誇りとなっていけば、これ以上の喜びはありません。

最後になりましたが、長野商工会議所には当クラブの後援会をお引き受けいただき、日頃たくさんのご支援をいただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

皆様のご支援にお応えできるよう努めますので、ぜひ長野Uスタジアムに足をお運びいただき、その雰囲気味わってください。そして、当クラブへのご要望がございましたら、お気軽にお伝えください。皆様とのコミュニケーションが一層深まることを期待しています。



PROFILE

1962年5月11日生まれ。1984年、日本大学時代にサラエゴ五輪に出場。1985年(株)三協精機製作所に入社、スピードスケート選手として活躍。引退後に日本大学、ミサワホーム、(株)三協精機製作所(後の日本電産サンキョー(株)、現在のニデックインスツルメンツ(株))のスケート部で長年監督として活躍。主な選手として清水宏保、加藤条治、長島圭一郎、吉井小百合、高木菜那らの指導に関わり、多くのメダリストを輩出。2023年3月8日より現職。

その思いを伝えたところ、「可能だと思えます」と口を揃えてくれました。レディースチームも後半の3試合を見れば、優勝も夢ではありません。

シュタルフ、村山両氏の言葉に私は心を強くしました。初めは大法螺吹きと言われても、夢を描くことが大事です。そして、チームのレベルを押し上げるには、選手の力、指導力に加え、スカウティング、フロントスタッフなどクラブ全体が、監督の言葉通り「ワンチーム」として噛み合わなければなりません。大きな夢に向かって皆が結集して取り組めば、夢は次第に実現可能な目標になり、ついには絶対成し遂げるべき目標になると信じています。

また、プロスポーツとして結果を求めつつ、今日の前にあることにベストを尽くす姿勢を大事にしたいと考えます。今のこの一瞬に目を向け全力を注いでいれば、その姿勢はサポーターにも地域の方にもきっと応援され、結果にもつながります。チームに限らずこの組織全体が、今できるすべてのことに集中する集団でありたいです。そして、大きな夢に向かうために、一人ひとりが心を磨き、人間としての魅力に溢れ、互いにリスペクトし合う組織でありたいと願っています。

世代を超えて
コミュニケーションを深める場を

地域との間で、今後どのような関係を築いていかれますか。

今村 冒頭に申し上げた、スポーツを通じて社会を明るくするためには、地域にとってスポーツが身近な存在であることが大事です。現在もサッカー教室を催し、地域の子どもたちが選手に接する機会を設けています。また、長野市からの依頼で高齢者のフレイル予防事業にも協力しています。子どもたちには夢を与え、おじいちゃんおばあちゃんには毎日笑顔で生き生き過ごしていただきたいと願っていますし、今後も年齢も性別も障害のあるなしも越えて、ふれあいの場を地域でどんどんつくっていきます。Jリーグの中で、WEリーグの中で、AC長野パルセイロはどこよりも地域と近く、地域と結びついた活動をしていると評価いただけるように取り組んでいきます。

AC長野パルセイロには、サッカーの他にもアイスホッケーやバドミントンのチームや選手もいます。あらゆるスポーツを通じて地域と関わり、オレンジのユニフォームをまとった選手たちの周りに老若男女が笑

DATA
株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
[設立] 2007(平成19)年
[業務内容] スポーツクラブ運営
およびサッカー興業
[所在地] 長野市屋島3300
[TEL] 026-244-7780

横顔

運動は朝のジョギングをできるだけ
掛け、読書はビジネス書をよく読む。
お酒は生ビール派で、休日は奥様と過ごす時間を大切にしている。